

- 問1 645年、中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏をたおしたことをきっかけに始まった政治改革では、どのような国家体制を目指したか。最も適切なものを選びなさい。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 有力な豪族による合議制に基づいた政治
 2. 外国の王をトップに据えた国際的な統治
 3. 天皇を中心とした中央集権的な国づくり
 4. 武士が政治の実権を握る封建的な仕組み
- 問2 7世紀半ば、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を広げ、百済を滅ぼしました。これを受けて、当時の日本（倭国）がとった行動とその結果として正しいものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 高句麗の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。
 2. 元（モンゴル帝国）の侵攻を阻止するために朝鮮半島へ出兵したが、文永の役で大敗を喫した。
 3. 唐と結んで朝鮮半島での権益を確保しようとしたが、白村江の戦いで新羅の軍勢に敗北した。
 4. 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。
- 問3 天武天皇による律令国家の形成過程において、その政治的な背景や仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
1. 唐の軍隊が九州に侵攻してきたため、防衛を目的として大宰府に防人を配置し、水城を築いた。
 2. 班田収授法を廃止することで、地方の有力者が独自に土地を開発し、私有化することを奨励した。
 3. 壬申の乱で有力豪族を抑えて勝利したことで、貴族に頼らない天皇中心の強力な政治体制が可能になった。
 4. 摂政や閑白といった役職を設けることで、藤原氏などの有力な貴族と協力して政治を行う体制を整えた。
- 問4 聖徳太子が小野妹子を隋へ派遣した目的として、当時の日本の政治状況や国づくりの方針を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 中国の進んだ制度や文化を直接取り入れ、天皇を中心とする中央集権的な国づくりを進めるため
 2. 大宝律令を完成させるために、中国の法律の専門家を日本に招く交渉を行うため
 3. 卑弥呼がかつて受けた「親魏倭王」のような称号を隋の皇帝から授かり、国内の統治を安定させるため
 4. 菅原道真の建議に基づき、危険な渡海を伴う外交を縮小するための事前調査を行うため
- 問5 飛鳥時代に推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）が、役人の政治に対する心がまえを説くために制定した法は何ですか。「和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗となせ」という、人々の和を尊重し、争わないことを第一に掲げたものを選びなさい。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 武家諸法度
 2. 御成敗式目
 3. 五箇条の御誓文
 4. 十七条の憲法
- 問6 大化の改新から始まる律令国家の形成過程において、天智天皇の死後の後継者争いに勝利した天武天皇が、その後の政治で目指したこととして最も適切な説明はどれか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. 仏教の力を借りて、地方の豪族に土地の私有を認めること。
 2. 遣唐使の派遣を停止し、日本独自の国風文化を広めること。
 3. 天皇の権威を強め、法に基づき全国を直接統治する中央集権体制を確立すること。
 4. 武士の協力を得て、朝廷の警備を強化し、新しい幕府を開くこと。
- 問7 607年に小野妹子が中国へ渡った際の外交の目的と、当時の日本がとった姿勢について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 中国の皇帝に貢ぎ物を届けることで、朝鮮半島の諸国に対する日本の軍事的な支配権を認めてもらおうとした。
 2. 中国の王朝に対して対等な立場での外交を求め、進んだ制度や文化を主体的に取り入れようとした。
 3. 隋の皇帝から「親魏倭王」の称号を授かることで、国内の有力な豪族たちを抑え、天皇の権威を誇示しようとした。
 4. 唐の優れた律令をそのまま模倣して導入し、貴族の合議制に基づく新しい政治体制を確立しようとした。
- 問8 飛鳥時代に遣隋使が派遣された背景や目的について説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島での戦いを有利に進めるため、中国の軍事的な援助を直接受けることを目的とした。
 2. 中国の進んだ制度や文化を取り入れることで、天皇を中心とする中央集権国家の形成を目指した。
 3. 仏教を日本から中国へ広めるために、聖徳太子自らが選んだ高僧を派遣した。
 4. 中国との貿易において、日本産の銀や銅を輸出して経済的な利益を独占しようとした。
- 問9 7世紀後半、日本（倭国）は朝鮮半島の西南部に位置する地域へ大規模な軍隊を派遣し、唐・新羅の連合軍と衝突しました。この戦いが起こった直接的な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 博多に侵攻してきた元の軍隊を、朝鮮半島の拠点で迎え撃つため
 2. 新羅と軍事同盟を結び、半島北部の高句麗を制圧するため
 3. 友好関係にあり、当時滅亡していた百済の復興を支援するため
 4. 九州北部を襲撃した刀伊と呼ばれる集団の正体を突き止めるため
- 問10 7世紀から8世紀にかけて、日本は天皇を中心とする中央集権的な律令国家の形成を目指した。この過程で起きた「大化の改新」「壬申の乱」「大宝律令の制定」の3つの出来事を、発生した時期が古いものから順に並べたものとして正しいものはどれか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 壬申の乱 → 大化の改新 → 大宝律令の制定
 2. 大化の改新 → 大宝律令の制定 → 壬申の乱
 3. 大化の改新 → 壬申の乱 → 大宝律令の制定
 4. 大宝律令の制定 → 壬申の乱 → 大化の改新
- 問11 飛鳥時代に建立された豪族寺院について、その特徴を正しく述べたものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
1. 聖徳太子による仏教振興を背景に、豪族たちが勢力の大きさをアピールするために建てた。
 2. 平安貴族が浄土への憧れから、寝殿造の様式を取り入れた華麗な庭園とともに建てた。
 3. 国ごとに国分寺と対になる形で設置され、女性の僧侶が修行する場所として建てた。
 4. 遣唐使によってもたらされた最新の禅宗を広めるため、幕府の全面的な支援を受けて建てた。
- 問12 小野妹子が中国の王朝である隋へ派遣された際、聖徳太子は「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す…」という内容の国書を持たせました。この記述から読み取れる、当時の日本が隋に対してどのような外交姿勢をとろうとしていたか、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 隋の皇帝に従属し、周辺諸国の支配権を認めてもらう姿勢
 2. 隋と対等な立場での国交を結び、独自の地位を築こうとする姿勢
 3. 隋の文化を拒絶し、日本独自の鎖国体制を築こうとする姿勢
 4. 隋の皇帝に対して臣下としての礼を尽くし、称号を求める姿勢